



# 高島学園

## 中学校だより 【第1号】

令和5年 4月 10日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

令和5年度の幕開けです。高島学園高島中学校、全校生徒155名でスタートできることを大変うれしく思います。教職員組織は以下の通りです。学校目標「確かな学力と豊かな心を身につけ、たくましく未来を切り開く」を念頭に、本年度も、高島中学生の豊かな成長に向けて、全力で取り組みます。今年度のスタッフです。どうぞよろしくお祈いします。

7年主任	北條 景	美術	科学工作	伊崎 一朗	教務・数学・技術・ソフトテニス
7年1組	桑原 雄介	理科	陸上スポーツ ソフトテニス	大村 敦世	通級指導
7年2組	稲本 果那	保健体育	女子バレーボール	岡本 真緒	養護教諭
8年主任	岩田 知美	音楽	吹奏楽	山口 早苗	主任事務主査
8年1組	宮本 悠介	英語	ソフトボール	足立ゆみ子	非常勤講師(国語)
				高橋 孝志	非常勤講師(英語)
8年2組	森 敏	社会	バスケットボール	グレース・ ナムリンデ	A L T
8年	白井甚三郎	理科		小川香津子	教育支援員
9年主任	中川 雅文	保健体育	バスケットボール 男子バレーボール	田中 裕代	スクールカウンセラー
9年1組	川原林仁美	英語	科学工作	前田 純也	用務員
9年2組	山崎 祐輝	理科	陸上スポーツ	中村真奈美	地域学校協働活動推進員
進路指導	横田 武	数学	男子バレーボール	伊藤 隆樹	部活動指導員(女子バレーボール)
おおとり1組	大久保ゆかり	家庭・国語	吹奏楽	鈴木 裕治	教頭
おおとり2組	岡本 敏	国語	女子バレーボール	浦島 容子	校長

### 令和5年度 感動の高島学園に！

昨年、高島学園の生徒が、学校や地域に多くの変化をもたらしました。それは、高島学園の生徒が自ら良いと思うことを実践する姿から生まれたものです。その行動に多くの感動を受けました。地域の方から多く感謝の言葉が届きました。昨年の終わりに生徒が言ってくれた言葉「今年を超える」を思い出します。8、9年生の生徒たちが創る新たな高島学園が楽しみです。

### 夢に近づく！目標に近づく！



新しい学年。前を見て、夢に近づき、目標に近づいていってくれることを願っています。その時、その時は、自分の変化や進歩になかなか気づきにくいものですが、時をおいて振り返ると明らかです。昨年の今頃の自分とは違うことを感じる事ができるでしょう。3学期の終わり、環境委員の仕事ぶりは素晴らしいものでした。春休みの部活動、技術が確実に進歩し、たくましくなりました。自分から人へ声かけをしたり、準備や後片付けをしたりする人が増えました。一年の成長はすごいものです。令和5年度、頑張る姿をたくさん見ていきたいと思ひます。

保護者の皆様、本年度もどうぞよろしくお祈いします。

高島学園では、地域の方々に多大な支援を受けながら、教育活動を進めています。本年度も、地域と共にある学校として、保護者の皆様と一緒に子どものより良い成長を支えていきたいと思ひます。よろしくお祈いします。

## 「主体性は実を結ぶ」

学校だよりでたびたびとお話していますが、学校では、子どもたちの主体性を育てることを大切にしています。「主体的な学び」を育てるために、本年度は次のことに力を入れていきます。

### ●「学び合い」学習を充実します。

昨年もグループ学習を行ってきましたが、よりお互いが学び合う課題を設定します。その中で、生徒がその課題について自ら話したり、自ら聞いたりする姿を評価します。また、生徒がどんな発見や気づきをしているか、そして、それをもとにどんな考えを抱き、どう解決しようとしたかを見ていきます。

### ●定期テストを4回とします。

昨年より1回少なくし、単元ごとに評価していくこととしました。例えば、ノートでの自主学習の内容を確認したり、レポート作成で、自ら学びを深めようとしているかを見たりして、それぞれの生徒の学びを単元ごとに見ていきます。

これらについては、各教科で、どうすれば自分の力を伸ばすことができるかを丁寧に説明しますので、安心して取り組んでほしいと思います。

「主体性」は、学力を高め、豊かな心を育むために重要であり、子どもの育ちの中で重視しなければならないものとなりました。今年は、さらに主体性を伸ばす取り組みへと進めていきます。周囲の大人の温かく、粘り強いかわりが大切です。子どもたちに「頑張ろう」とするエネルギーがわくよう、支援していきましょう。

## ○「良いと思うことを、自らやる」式辞(抜粋)

令和5年度、高島学園高島中学校新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。



皆さんは、今日、高島学園高島中学生となりました。中学校は、心から湧き出るやりたいことを大切に、やるべきことを、自分で見つけ、失敗を恐れず、果敢にチャレンジするところです。これから始まる中学生生活三年間、小学校の時と同様、安心して、自分の力を精一杯発揮してください。

皆さんが入学するにあたり、目の前の先輩の学校生活の一端を紹介します。今、大きな期待を持ち希望に燃えている皆さんが、中学校生活をどのように送るのが、はっきりと見えてくると思います。

8年生を見てください。一年前とは、随分、違うことがわかります。「自分が良いと思うことを自らやる」を続けてきました。誰も見ていなくても、人の役に立とう、地域のためにと考えて行動しています。8年生のこの行動が、地域のいたるところから、感謝の言葉となって届いています。このことが、中学生なら誰もが一番気にしている勉強に、大きな効果が出ています。この一年間で、確実に学力をつけた生徒がたいへん多くいます。

9年生を見てください。教室をよく見に行くのですが、毎朝、チャイムを合図に自ら席に着き、落ち着いて読書をしています。その姿は、たいへん素晴らしく、自らの行動で、一日のスタートを、しっかりと切っています。「大事なことは変わらない」という心の強さが常に見られます。皆さんとは、二年の違いしかありませんが、すべきことを自ら行い、目指す目標をしっかりと見据えています。

なぜ、勉強するのか、それは、将来やりたいことがあり、その夢を実現するためであると言った生徒がいます。9年生の中には、夢や目標に近づくために、勉強やスポーツに、全力で向かっている生徒が多いです。しかし、9年生はそのことだけではありません。中学生としての活動である、部活動や生徒会活動、日常の係活動、そして、学校内だけではなく、地域でのボランティア活動、どんなことにも、一人何役でも、やっている生徒が多くいます。わずか二年で、今、みなさんが見ている、しっかりとした、それでいて心優しい、最上級生になっています。

7年生の皆さんも、「多くの人々がよいと思うことを、誰も見ていなくてもやる、それを増やす」を日常生活で心がけてください。一人ひとりの、しっかりとした学校生活が見られることを、楽しみしています。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。

高島学園は、『確かな学力・豊かな心・たくましく未来を拓く』を教育目標にしています。日頃の教育活動のあらゆるものが、目標の達成のために行っている活動です。

14年目となる高島学園、今年も小中一貫教育を通して、児童生徒が学び合う、教育活動に取り組んでいます。また、7年目となる高島学園コミュニティスクールでは、地域の皆様の支援を多大に受けながら、地域とともにある学校づくりを行っています。これらを基盤として、学園の教職員が一体となりお子様たちの豊かな成長に向けて、全力で取り組んでいきます。保護者の皆様には、これまでと変わりませず、お支えをいただきますようお願いいたします。

それでは、高島学園高島中学校7年生の皆さん、今から、自ら行動する皆さんの姿を、たくさん見せてもらいたいと思います。パワー全開で頑張ってください。